TOKYO NATIONAL MUSEUM NEWS

東京国立博物館ニュース

展示と催し物案内［第713号］

2012
6–7

2・3 特別展［予告］青山杉雨の眼と書
4 特別展［予告］中国 王朝の至宝／特別展［予告］出雲―聖地の至宝―
5 東洋館リニューアルオープン！／東京国立博物館140周年 記念事業のお知らせ
6・10 総合文化展 見どころ案内 2012年6月・7月 日本美術の流れ／特集陳列「東洋の青磁」／特集陳列「写された書―伝統から創造へ―」
特集陳列「女性画家」ほか／保存と修理情報⑪ 11 教えて！なぜなにトーハク―其の3―
12・13 みどりのライオン 教育普及事業［講演会／ワークショップ／親と子のギャラリー「日本美術のつくり方Ⅲ」／ほか］
14 INFORMATION 15 TOPICS 16 東京国立博物館 2012年 6月・7月の展示・催し物

TNM 140th ANNIVERSARY

特別展 予告

日中国交正常化四十周年
東京国立博物館百四十周年
生誕百年記念

青山杉雨の眼と書

あおやまさんうのめとしょ

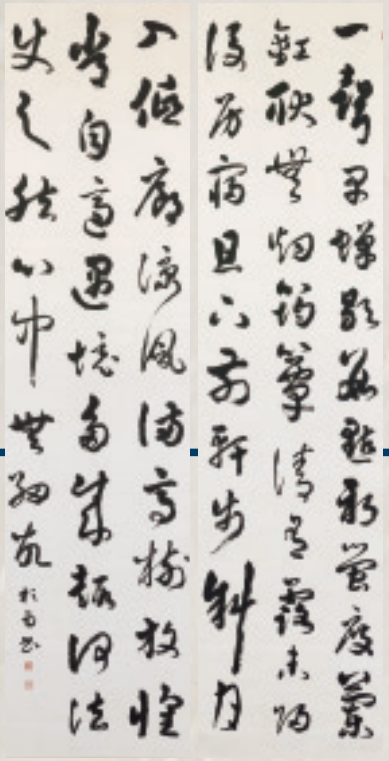
7月18日(水)―9月9日(日) 平成館

現代日本の書壇を牽引し続けた青山杉雨。その代表作に加えて、作家活動に影響を与えた中国書画、文房四宝のコレクションをご覧いただきます。

見どころ 1 書

多彩な作風が魅力の作品の数々

二十代の青山杉雨は、晋～唐時代の古典に基づいた行草書を得意としていました。三十歳で西川寧(にしかわやすし)の門下となると、清時代の呉昌碩(ごしょうせき)の書に触発され、行書・草書と篆書(てんしょ)・隷書(れいしょ)をどのように理解し表現するか、いわゆる「金石(きんせき)の気」の実現に心を砕きます。四十代には独自の書風を確立、五十代には絵画的な要素を盛り込み、現代感覚あふれる篆書作品を発表して書壇に大きな影響を与えました。常に書壇を牽引し続けた「一作一面貌(いっさくいちめんぼう)」と評される幅広い表現力は、書に対する深い思索とたゆまぬ実践のたまものだったのです。



Ⓐ

Ⓑ

関連事業

記念講演会

❶7月21日(土)13:30～15:00「青山杉雨の素顔」島谷弘幸(副館長)ほか
❷8月11日(土)13:30～15:00「青山杉雨コレクション」富田淳(列品管理課長)ほか

会場:平成館大講堂
主催:各回380名(事前申込制、応募多数の場合抽選)
聴講無料(ただし、本展覧会の観覧券が必要。半券でも可、その場合は別途入館料が必要)

申込方法:往復はがきの「往信用裏面」に郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・希望する講演会番号(❶または❷)を、「返信用表面」に郵便番号・住所・氏名を明記の上、下記までお申込ください。
＊1枚のはがきで、1つの講演会につき、最大2名の申込可。2名の場合は、それぞれの氏名を必ず明記してください。
申込先:〒106-8611　東京都港区西麻布2-25-18 麻布パレスビル
(株)ユース・プラニングセンター「青山杉雨の眼と書」(希望する講演会番号❶または❷)係
申込締切:❶6月28日(木) ❷7月18日(水)必着

◉は国宝、◎は重要文化財、○は重要美術品を表します。とくに表記のないものは東京国立博物館所蔵です。

特別展
「青山杉雨の眼と書」
2012年7月18日(水)～
9月9日(日)
平成館

主催:
東京国立博物館・読売新聞社

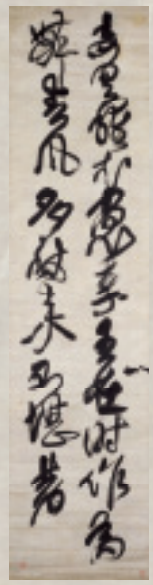
企画協力:
謙慎書道会

観覧料:
一般1,400円(1,200円 / 1,100円)
大学生1,100円(900円 / 800円)
高校性800円(600円 / 500円)
＊中学生以下無料
＊( )内は前売り / 20名以上の団体料金
＊障がい者とその介護者1名は無料です。
入館の際に障がい者手帳などをご提示ください。

お問合せ:
ハローダイヤル 03-5777-8600

ウェブサイト:
http://www.tnm.jp/

董其昌と傅山


G

F

63歳の時、青山杉雨は台北の故宮博物院で見た明時代の董其昌に大きな衝撃を受けます。それ以来、董其昌の書を集中して参観し、あわせて董其昌の書論を耽読します。自ら第2の開眼と語る董其昌との出会い。その影響は69歳の「杜甫・春望」に結実し、翌年には傅山の書風にもとづく「漢古詩」が揮毫されました。

F 漢古詩
青山杉雨筆　昭和57年(1982)
青山杉雨氏寄贈
傅山の法帖に基づきながら、青山流の解釈を加えた傑作

G 草書五言絶句軸
傅山筆　明～清時代・17世紀
青山杉雨氏寄贈
凄まじい迫力が紙面に横溢しています

眼 見どころ 2

創作に生かされた中国書画のコレクション

青山杉雨は、そのころ等閑視されていた明清時代の書に魅了され、中国の書画を積極的に収集しました。とりわけ清時代の呉昌碩の書は、三十代の青山杉雨の書の方向を決定づけることになります。書画の入手は、古い時代のものほど困難になりますが、青山杉雨は一個人には入手が不可能と信じられていた元時代の楊維楨(楊廉夫)の名跡を入手し、字の一文字をとって、書斎を獲廉斎と名づけました。また、二石斎の室号は、明末清初の石谿の画を二幅得たことにちなみます。書画はもちろん、印材や硯などの文房具を含むコレクションは、青山杉雨の透徹した文人趣味が遺憾なく反映されています。(富田淳)

E 漆沙瓢形硯箱
盧棟作　中国・清時代
18～19世紀
斉藤暁子氏寄贈
瓢箪形の硯。硯箱は漆沙という技法で装飾します

D

A 白楽天・閒夕
青山杉雨筆　昭和13年(1938)
青山慶示氏寄贈
重厚な趣を醸し出す26歳の作

B 殷文鳥獣戯画
青山杉雨筆　昭和44年(1969)
浅野弘子氏寄贈
古代文字を自由に捉えて、新しいスタイルを確立した57歳の作

C 楼閣人物黄楊彫硯屏
中国・清時代・17～19世紀
斉藤暁子氏寄贈
表には鳳凰にまたがる仙人たち、裏には挨拶する人物が彫ってあります

D 霧中群峰図
髡残筆　中国・清時代・康熙2年(1663)
青山杉雨氏寄贈
展示期間:8月21日(火)～9月9日(日)
青山杉雨の師、西川寧より贈られました

C

＊一部作品に展示替えがあります　※特に表記のないものは全期間展示されます

特別展 予告

日中国交正常化四十周年
東京国立博物館百四十周年

中国 王朝の至宝

10月10日(水)～12月24日(月・休) 平成館

一級文物目白押し！
中国が誇る歴代王朝の至宝がしのぎを削る

中国で最古の王朝といわれる夏の時代からおよそ四千年の間、中国各地にはいくつもの王朝が誕生し、特色ある豊かな文化が育まれてきました。それらは、相互に影響を与えつつ多様な展開をとげ、世界に冠たる中国文化を形成していきました。そして、日本をはじめ、近隣地域にも多大な影響を及ぼしていったのです。

この展覧会では、夏から宋まで、中国歴代の王朝の都ないし中心地域に焦点を当て、それぞれの地域の特質が凝縮された代表的な文物を対比しながら展示するという新たな手法によって、多元的でダイナミックに展開してきた中国文化の核心に迫ります。

（松本伸之）

小形仮面
殷～周時代・紀元前12～紀元前10世紀
中国・成都金沙遺址博物館蔵
何らかの儀礼に使用したと考えられる稀少な金製の仮面

雲文犠尊
戦国時代・紀元前4世紀　中国・山東博物館蔵
迫真的な造形が見事な、金銀宝石で飾られた動物形の酒容れ

天人龍虎蓮華文柱座（部分）
南北朝（北魏）時代・5世紀
中国・山西博物院蔵
楽器を演奏する可憐な姿の天人が表わされた石製品の部分

特別展
「中国 王朝の至宝」
2012年10月10日(水)～12月24日(月・休)
平成館

主催:
東京国立博物館、中国文物交流中心、NHK、NHKプロモーション、毎日新聞社、朝日新聞社

後援:
外務省

観覧料金:
一般1,500円(1,300円 / 1200円)
大学生1,200円(1,000円 / 900円)
高校生900円(700円 / 600円)
＊(　)内は前売り／20名以上の団体料金。
中学生以下無料
＊障がい者とその介護者1名は無料です。
入館の際に障がい者手帳などをご提示ください。

お問合せ:
ハローダイヤル 03-5777-8600

巡回予定

■神戸市立博物館
2013年2月2日(土)～4月7日(日)
■名古屋市博物館
2013年4月24日(水)～6月23日(日)
■九州国立博物館
2013年7月9日(火)～9月16日(月・祝)

古事記1300年 出雲大社大遷宮 特別展 予告

Treasures from Sacred Izumo :
On the Occasion of the Renovation of Izumo Taisha Shrine and 1300 Years of the Kojiki Chronicle

東京国立博物館
百四十周年

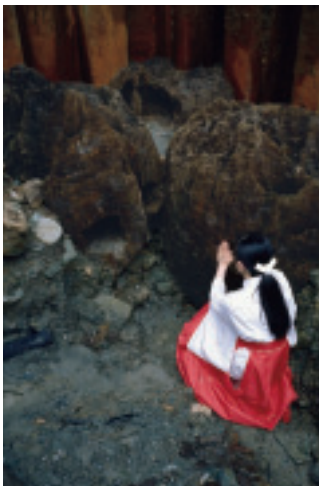
出雲 —聖地の至宝—

10月10日(水)～11月25日(日)
本館特別5・4室

古代史の常識をくつがえす
神殿の巨大柱と大量の青銅器群

島根県の出雲大社では、約六十年ぶりに本殿の修復や檜皮葺の屋根の葺き替えが終わり、来年五月に御祭神を仮殿から本殿に遷座する「平成の大遷宮」がおこなわれます。また今年は、出雲を舞台とした神話や出雲大社創建についても語られている『古事記』が編纂されて、ちょうど千三百年の記念の年にあたります。これを機に特別展「出雲 —聖地の至宝—」を本館特別5室・4室で開催することになりました。平成十二年(二〇〇〇)に出雲大社境内遺跡から出土した重要文化財の宇豆柱を含む大社の宝物、荒神谷遺跡、加茂岩倉遺跡出土の国宝の青銅器約八十点とともに出雲の社寺に伝わった神像や武器・武具などの優品を紹介いたします。

（池田宏）



右:◎宇豆柱
鎌倉時代・宝治2年(1248)
出雲大社境内遺跡出土
島根県・出雲大社蔵
鎌倉時代の社殿を支えていた柱

左:◉荒神谷遺跡出土の銅剣・銅矛・銅鐸
弥生時代・前2～前1世紀
文化庁蔵
昭和59年から60年に銅剣358本、銅矛16本、銅鐸6個が発見されました。展覧会では銅剣42本、銅矛16本、銅鐸5個を展示します

特別展
「出雲—聖地の至宝—」
2012年10月10日(水)～11月25日(日)
本館特別5・4室

主催:
東京国立博物館、島根県、島根県立古代出雲歴史博物館、NHK、NHKプロモーション、読売新聞社

特別協力:
出雲大社、島根県神社庁

観覧料金:
一般800円(700円)、大学生600円(500円)、高校生400円(300円)
＊(　)内は前売り、20名以上の団体料金。
中学生以下無料
＊障がい者とその介護者1名は無料です。
入館の際に障がい者手帳などをご提示ください。
＊前売り券は8月1日(水)から10月9日(火)まで、東京国立博物館正門チケット売場(開館日のみ)で販売。
＊特別展「中国 王朝の至宝」の観覧券で本展覧会をご覧いただけます。

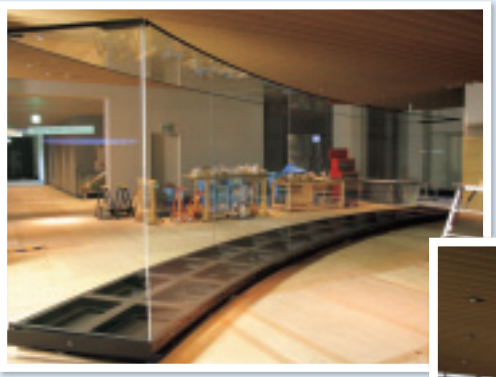
お問合せ:
ハローダイヤル　03-5777-8600

展覧会ホームページ:
http://izumo2012.jp

中国、朝鮮半島、東南アジア、インド、エジプト…いざ、東洋美術をめぐる旅へ～東洋館は新しく生まれ変わります

2013年1月 東洋館 リニューアルオープン！

耐震補強工事のため2009年6月より休館していた東洋館が、2013年1月いよいよリニューアルオープンします。東京国立博物館140周年のクライマックスともいえる開館の日に向けて、現在準備が進行中です。館内をいち早く体験していただけるプレオープンツアーや、東洋館の展示への理解をより深めていただく連続講座を予定しています。新しく生まれ変わる東洋館、どうぞご期待ください。



▲大きな曲面の展示ケースには青銅器を展示予定（第5室）

◀東洋館内最大の展示ケース（第8室）

||| 平成24年度連続講座 |||

「東洋美術をめぐる旅」

東洋館の展示と、特別展「青山杉雨の眼と書」（7月18日㈬～9月9日㈰）をより深く理解していただくために、3日間連続で受講していただく講座です。

日時・講演内容：

8月24日㈮ 13：00～16：15

■第1講　富田淳（列品管理課長）
「東洋の書―青山コレクションを中心に」
■第2講　白井克也（平常展調整室長）
「朝鮮半島の考古と美術」

8月25日㈯ 13：00～16：15

■第3講　後藤健（特任研究員）
「西アジア考古・エジプト人の考古と美術」
■第4講　三笠景子（保存修復室研究員）
「東洋の工芸と青山杉雨展出品作品について」

8月26日㈰ 13：00～16：15

■第5講　塚本麿充（東洋室研究員）
「東洋の絵画―アジアのなかのトーハク・東洋絵画コレクション―」
■第6講　川村佳男（保存修復室研究員）
「中国考古・新しい展示のみどころ」

会場：平成館大講堂
定員：380名（事前申込制、応募多数の場合抽選）
聴講料：無料（ただし、入館料は必要。会場受付時に連続講座期間中、無料で入館できる受講券をお渡しします。翌日以降はその券で入館できます。なお、受講券で特別展の観覧はできません）
申込締切：7月30日（月）必着
申込方法：往復はがきの「往信用裏面」に郵便番号・住所・氏名（ふりがな）・電話番号を、「返信用表面」に郵便番号・住所・氏名を明記の上、下記までお申込ください。
＊1枚の往復はがきで最大2名の申込可。2名の場合は、それぞれの氏名を必ず明記してください。
宛先：〒110-8712
東京都台東区上野公園13-9　東京国立博物館
教育講座室　連続講座係
お問合せ：東京国立博物館　教育講座室
電話 03-3822-1111（代表）

||| プレオープンツアー |||

「東洋館をめぐる旅」

開館前の東洋館をいち早く体験していただけるツアーです。青銅器の大型展示ケース、耐震補強工事のポイントなど、見どころを研究員が解説しながら、作品を展示する前の館内をめぐります。

日時：

9月15日㈯ 11：00～12：30／14：00～15：30
9月19日㈬ 11：00～12：30／14：00～15：30

全4回とも内容は同じです。
会場：東洋館
定員：各回15名（事前申込制、応募多数の場合抽選）
聴講料：無料（ただし、入館料は必要）
申込締切：8月20日（月）必着
申込方法：往復はがきの「往信用裏面」に郵便番号・住所・氏名（ふりがな）・電話番号を、「返信用表面」に郵便番号・住所・氏名を明記の上、下記までお申込ください。
＊1枚の往復はがきで最大2名の申込可。2名の場合は、それぞれの氏名を必ず明記してください。
宛先：〒110-8712　東京都台東区上野公園13-9
東京国立博物館　教育講座室　プレオープンツアー係
お問合せ：東京国立博物館 教育講座室
電話 03-3822-1111（代表）

東京国立博物館140周年　ブンカのちからにありがとう

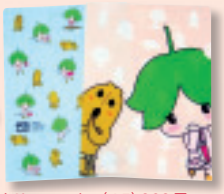
記念事業のお知らせ

140周年キャラクター トーハクくんとユリノキちゃん

本誌でもすでに大活躍のトーハクくんとユリノキちゃん。
本館前の特設ボードはもうご覧になりましたか？
ミュージアムショップでは、グッズも誕生しました。
身近においてかわいがってください。

クッキー
399円

きんちゃく
630円



クリアファイル（A5）262円

＊各種グッズをセットにして10名様にプレゼント。応募方法の詳細は本誌14ページをご覧ください。（商品の組合せはお任せください）

140周年パンフレット スタンプラリー実施中

毎月デザインが変わるスタンプが好評です。6つ集めれば140周年オリジナルグッズをプレゼント（先着3000名）。15個すべて集めた方には、特別展のチケットをペアで差し上げます。

140周年 ありがとうブログ

トーハクで様々な仕事をしているスタッフから感謝をこめて、それぞれの「ありがとう」の言葉を綴るブログを展開中です。
恩師にありがとう（副館長）、海外展でお世話になった方々に海を越えてありがとう（国際交流室長）、博物館の礎を作ってくれた人たちにありがとう（保存修復室長）、博物館ニュースの読者の皆様にありがとう（広報室員）など、様々な視点からトーハクの今と感謝の気持ちをお伝えしています。週2回程度更新中。是非、アクセスしてみてください。

東京国立博物館ウェブサイト
http://www.tnm.jp/

140周年 記念イベント

秋の特別公開
9月15日㈯～30日㈰

連休を挟んで2週間、当館に贈られた寄贈品から名品をセレクトして公開。美術の秋をお楽しみください。
期間中、きものて来館した方は総合文化展の観覧料を100円引きに！

東洋館リニューアルオープン＆博物館に初もうで
2013年1月2日㈬～1月27日㈰

東洋館の名品を一挙公開、さらに本館では当館きっての人気の国宝「松林図屏風」も公開予定です！

術の流れ

江戸まで、どる日本美術史

入口

本館 1-1 室
日本美術のあけぼの
── 縄文・弥生・古墳

本館 1-2 室
仏教の興隆
── 飛鳥・奈良

本館 2 室
国宝室

本館 3-1 室
仏教の美術
── 平安～室町

本館 3-2 室
宮廷の美術
── 平安～室町

本館 3-3 室
禅と水墨画
── 鎌倉～室町

本館 4 室
茶の美術

本館 5 室
武士の装い
── 平安～江戸

1-1 日本美術のあけぼの ── 縄文・弥生・古墳

日本美術の原点として縄文から古墳時代の代表作品を紹介します。

11/4 日

縄文土器や土偶、銅鐸や埴輪などから各時代の造形美の変遷を追います。

土偶 必見
縄文時代（後期）・前2000～前1000年　茨城県利根町 立木貝塚出土　個人蔵
一見ユーモラスにみえる造形にも縄文人の祈りがこめられています

銅鐸　弥生時代（後期）・1～3世紀
三重県伊賀市 柏尾湯舟出土
本来の鳴り物としての機能を失い、見せるだけになった大型の銅鐸 必見

1-2 仏教の興隆 ── 飛鳥・奈良

飛鳥時代から奈良時代にかけての仏像や経典など、古代の仏教美術を紹介します。

6/26 火 ─ 7/16 月・祝

奈良時代を代表する大字・中字・細字の写経をご紹介します。

註楞伽経断簡 必見
奈良時代・8世紀
植村和堂氏寄贈
1行12字前後で大ぶりに書かれた、奈良時代の大字写経の名品です

5/8 火 ─ 8/26 日

菩薩立像 必見
飛鳥時代・7世紀
7世紀前半の木彫の稀少な作例です

7/18 水 ─ 8/26 日

百万塔陀羅尼 必見
奈良時代・8世紀
称徳天皇が、平和への願いをこめて制作した年代の明らかな世界最古の版経です

---

2 国宝室

絵画・書跡の名品をゆったりした空間で心静かに鑑賞していただくための展示室です。

5/29 火 ─ 7/8 日

◉法華経巻第六（色紙） 必見
平安時代・12世紀　和歌山・金剛峯寺蔵
優美で清らかな料紙の取り合わせに注目

7/10 火 ─ 8/19 日

◉医心方巻三十 証類部 必見
平安時代・12世紀
『医心方』は、日本に現存する最古の医学書。この作品はその最も古い写本です

3-1 仏教の美術 ── 平安～室町

絵画、彫刻、書跡など、日本仏教美術の多様で多彩な世界をご覧ください。

4/24 火 ─ 8/26 日

◎金銅八仏種子五鈷鈴 必見
平安時代・12世紀
金剛界四仏、胎蔵界四仏、あわせて八仏の種子と様々な文様を表した装飾性豊かな五鈷鈴

6/5 火 ─ 7/16 月・祝

◎阿弥陀如来像 必見
鎌倉時代・14世紀　福島・いわき市蔵
2メートルを超える画面に圧倒される来迎図です

6/5 火 ─ 7/16 月・祝

◎願文 必見　慈円筆
鎌倉時代・貞応3年（1224）
慈円が、病気で苦しみ臨終を迎えないようにとの祈りをこめて書いた自筆の願文です

7/18 水 ─ 8/26 日

お盆の時期に因み地獄からの救済などに関連する作品を展示します。

◎地蔵菩薩立像 必見
平安時代・12世紀　京都・浄瑠璃寺蔵
王朝貴族好みのおだやかな顔と袈裟の美麗な彩色が見どころです

4/24 火 ─ 6/3 日

◎天狗草紙絵巻（東寺・醍醐寺巻） 必見
鎌倉時代・13世紀
当時の南都北嶺をはじめとする僧侶達の驕慢ぶりを天狗に譬えて風刺した絵巻です

7/18 水 ─ 8/26 日

古筆手鑑 毫戦
奈良～江戸時代・8～19世紀
高野切、本阿弥切などの名品をまとめた手鑑（古筆のアルバム）です

6/5 火 ─ 7/16 月・祝

◎清水寺縁起絵巻 巻上 必見
土佐光信筆　室町時代・永正14年（1517）
宮廷絵所預（絵師の長）であった土佐光信晩年の筆とされる作品です

3-2 宮廷の美術 ── 平安～室町

平安から室町までの貴族社会から生まれた書とやまと絵の世界。

7/18 水 ─ 8/26 日

◎東北院職人歌合絵巻 必見
鎌倉時代・14世紀
職人達が和歌を競うもので、花園院（1297～1348）周辺での制作が予想されています

3-3 禅と水墨画 ── 鎌倉～室町

禅宗の本格的導入にともない成立した水墨画と墨跡をご覧いただきます。

4/24 火 ─ 6/3 日

四季花鳥図屏風 必見
狩野元信筆　室町時代・16世紀　個人蔵
初期狩野派を代表する画家、元信の水墨による花鳥図の名品です

6/5 火 ─ 7/16 月・祝

◎仏応禅師（太平妙準）像 必見
大喜法忻賛　南北朝時代・貞治2年（1363）　栃木・雲巌寺蔵
顔や袈裟、椅子にかけた法被がとても丁寧に描かれています

7/18 水 ─ 8/26 日

◎李白観瀑図 必見
惟肖得巖賛
室町時代・15世紀　個人蔵
廬山の瀑布を詩に詠む李白になったつもりで滝の轟音をお聞きください

---

4 茶の美術

日本の伝統文化である茶の湯のなかで育まれた美術を紹介します。

6/12 火 ─ 9/2 日

瑠璃地染付蓮図水指 必見
伊万里　江戸時代・17世紀
珍しい初期伊万里の水指。独特の温容な気分をたたえています

3/27 火 ─ 6/10 日

志野茶碗 銘橋姫 必見
美濃　安土桃山～江戸時代・16～17世紀　松永安左ェ門寄贈
志野茶碗の中でも古格で、堂々とした力強い作風を示しています

---

5 武士の装い ── 平安～江戸

用いられた刀剣や甲冑などの武具に加えて、武士の肖像画や書を展示します。

書状 高山右近筆
江戸時代・慶長17年（1612）
キリシタン大名として著名な右近は茶人でもありました。これは送り返された茶入に添えられた手紙です 必見

7 屏風と襖絵 ── 安土桃山・江戸

大画面の作品から生み出される空間の広がりを感じとってください。

6/12 火 ─ 7/22 日

必見

蝦蟇鉄拐図屏風
曽我蕭白筆
江戸時代・18世紀
役者が見得を切るような蕭白の鉄拐仙人

5/8 火 ─ 6/10 日

大原御幸図屏風
長谷川久蔵筆
安土桃山時代・16世紀
『平家物語』の一場面。草木の繊細な表現が建礼門院の儚い境遇を暗示しています

必見

必見

宮島祭礼図屏風
江戸時代・17世紀
大鳥居が目を引く宮島厳島神社の祭礼に人々が集い、にぎわう

5 6 武士の装い ── 平安～江戸

平安時代から江戸時代までに

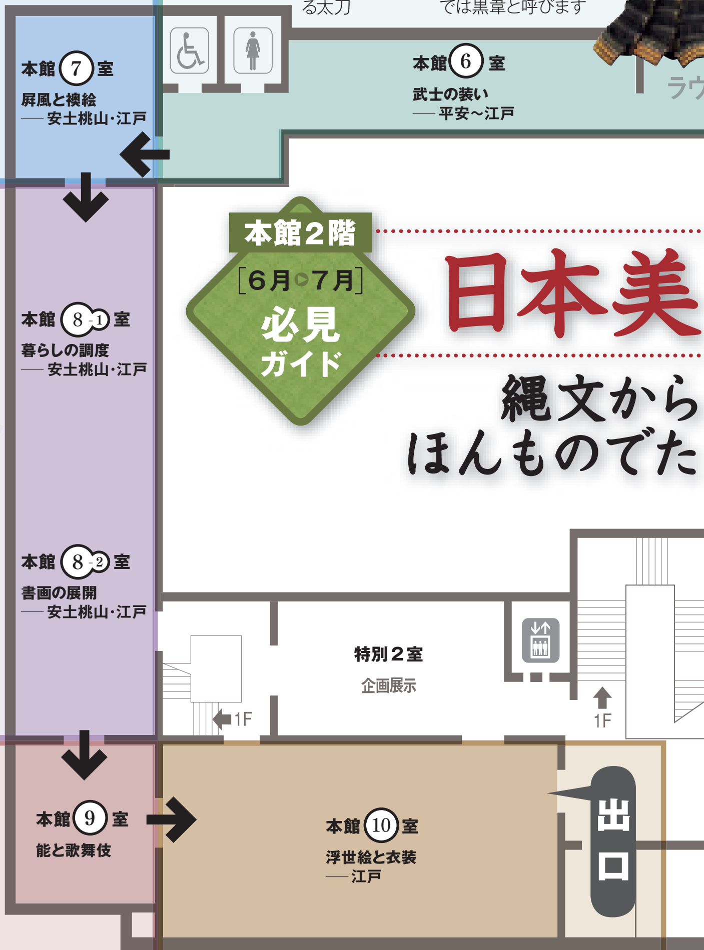
5/8 火 ─ 7/22 日

◎太刀 無銘　大和物(号 獅子王)
平安時代・12世紀
源頼政が鵺退治の功績によって天皇より賜ったとされる太刀

必見

必見

◎黒韋肩白威胴丸
南北朝時代・14世紀
藤原清子氏寄贈
藍で濃く染めた韋を甲冑では黒韋と呼びます



本館２階 [6月▶7月] 必見ガイド

日本美

縄文からほんものでた

8-1 暮らしの調度 ── 安土桃山・江戸

安土桃山から江戸時代に人々の身の回りを飾った調度や器を展示します。

3/27 火 ─ 6/24 日

季節に合わせ、春から初夏に因んだ意匠の品々をご覧いただきます。

必見

色絵蒲公英図皿
鍋島 江戸時代・17～18世紀　個人蔵
鍋島ならではの筆さばきと構図で、愛らしい蒲公英が洗練されたデザインに

6/26 火 ─ 9/23 日

季節に合わせ、夕顔や罌粟、水辺の意匠など夏に因んだ文様の作品をご覧いただきます。

夕顔蒔絵大鼓胴
江戸時代・17世紀
竹垣に扇面、夕顔の文様は、源氏物語「夕顔」帖の象徴です

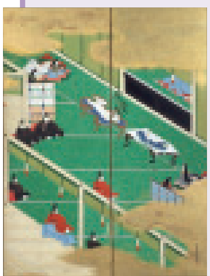
必見

蛇籠千鳥蒔絵硯箱
江戸時代・18世紀
広田松繁氏寄贈
流水と蛇籠をクローズアップした図案は、当時人気の光琳風

必見

8-2 書画の展開 ── 安土桃山・江戸

さまざまな表現で広がる豊かな視覚文化の時代を体感してください。



5/8 火 ─ 6/10 日

栄花物語図屏風
土佐光祐筆
江戸時代・17～18世紀
藤原道長の栄華のさまを描く。殿上人の衣装が色鮮やか

必見

6/12 火 ─ 7/22 日

近世における多様な人物表現。

◉鷹見泉石像
必見
渡辺崋山筆
江戸時代・天保8年(1837)
家計を支えるため画業を志した田原藩士・崋山による迫真の肖像画

初夏の雰囲気を題材とした作品や江戸時代後期の文人の書を展示します。

飲中八仙歌屏風
亀田鵬斎筆
江戸時代・文政4年(1821) 個人蔵
酒を愛した文人学者亀田鵬斎の雰囲気がよく伝わる筆致は欧米人収集家から「フライングダンス」と呼ばれた特異な形

必見

9 能と歌舞伎

室町時代～江戸時代に用いられた能面・能装束・歌舞伎衣装などを紹介します。

4/24 火 ─ 6/24 日

母の深い情愛を描いた能「海士」にあわせた面・装束を展示します。

必見

長絹 紫地扇牡丹菊模様
江戸時代・18世紀
袖を翻らせながら舞う姿が美しい、鬘物の上衣

6/26 火 ─ 8/19 日

中世の喜劇・狂言の世界を面・装束のユーモラスな表現を通してご覧いただきます。

素襖 茶麻地傘模様
必見
室町時代・16世紀
能とは対照的に、染めによる大胆な模様が狂言装束の魅力

10 浮世絵と衣装 ── 江戸

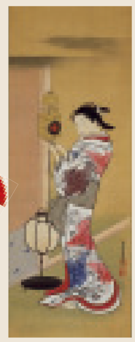
【浮世絵】
江戸時代の美人や風景を描いた版画と肉筆の浮世絵を展示します。

5/15 火 ─ 6/10 日

勝川派の役者絵や、喜多川歌麿の美人画に上方の肉筆画を加えて。

必見

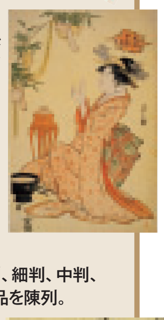
柱時計美人図
西川祐信筆
江戸時代・18世紀
恋人に帰りの時間を忘れさせようと時計を止める女性



6/12 火 ─ 7/8 日

七夕や涼み、蛍狩りなど初夏の風物を陳列。

風流五節句・七夕
必見
鳥文斎栄之筆
江戸時代・18世紀
七夕飾りに赤い糸で願いを結ぶ娘

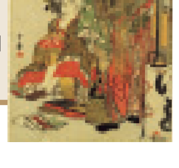


7/10 火 ─ 8/5 日

丹絵や紅絵、紅摺絵。横大々判、細判、中判、間判など多彩な形式の版画作品を陳列。

〇青楼仁和嘉女藝者部・大万度、荻江、おいよ、竹次
喜多川歌麿筆
江戸時代・天明3年(1783)
歌麿の3種類の「青楼仁和嘉」を2点ずつ陳列

必見



【衣装】 小袖や髪飾り、印籠や根付など江戸時代のファッションに関する展示です。

4/24 火 ─ 6/24 日

キモノにデザインされた藤・菖蒲・桐の花など季節の花をご覧いただきます。

必見

小袖 白綸子地鼓藤模様
江戸時代・17世紀
鼓を大胆に円で表わしたリズミカルなデザインは江戸時代前期のモードの流れです

6/26 火 ─ 8/19 日

夏の衣装やガラス製の髪飾りなど、江戸時代の涼しさの表現をご覧いただきます。

必見

帷子 淡紅麻地幕藤文字模様
江戸時代・18世紀
和歌の文字を散らした優雅で涼しげなキモノは麻の単仕立

注目の特集

中国陶磁史の頂点

注目 東京国立博物館140周年特集陳列

「東洋の青磁」

●5月15日(火)～7月29日(日)
●本館14室

青磁は東洋独特のやきものであり、中国において後漢時代に完成されました。これより十四世紀までの中国陶磁史は青磁を軸に展開したといっても過言ではありません。青磁は価値観の上でも頂点に位置し、宋時代は官窯が置かれ宮廷向けの青磁が焼かれました。青磁の青い色は何か特別な材料で着色したものではなく、胎土や釉薬に含まれる微量の鉄分が、窯の中で酸素を制限された状態で焼成されることによる発色です。青磁の技術は近隣諸国に波及し、なかでも朝鮮半島では高麗時代に翡色と呼ばれるすぐれた青磁が焼かれました。青磁は色や光沢に生産地や時代の特徴があらわれます。中国、朝鮮、ベトナム、タイ、そして日本で焼かれた青磁を一堂に展示することにより、それぞれの特色を浮き彫りにします。

（今井敦）

青磁碗
耀州窯　五代時代･10世紀　横河民輔氏寄贈
窯址の発掘調査により、五代の耀州窯ではこのような青磁が焼かれていたことが明らかになりました

書の基本、「写す」について考える

注目 特集陳列

「写された書―伝統から創造へ―」

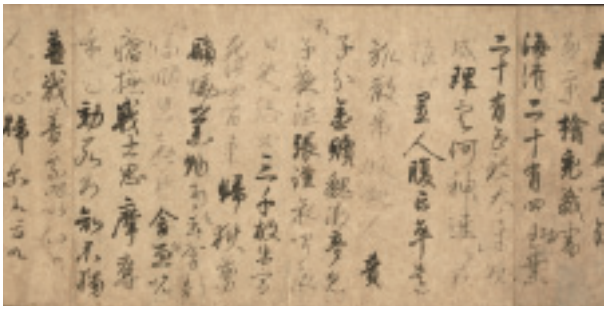
●5月22日(火)～6月24日(日)
●本館　特別1室

古くより、書は繰り返し写されてきました。その目的は、経典、典籍や文学の普及のため、自身の書の修練のため、文化財保護のためなど、様々です。書にとって、写すことは基本の作業です。写すことで、その書と真剣に向き合い、記憶に焼き付けることができます。また、写すことによって、あらたな創造が行われてきました。

書を写す手段はいろいろあります。臨書、双鉤塡墨、拓本などで写した書を、江戸時代には板本にして広く紹介しました。こうした写された書の中には、原本の失われているものも多く、模写自体が貴重となっています。

今回は、様々な手段で写された書を、古いものから近現代のものまでご紹介します。書と向き合ってきた人々の軌跡をお楽しみください。

（恵美千鶴子）



新楽府断簡　臨小野道風　平安時代･12世紀　矢野啓通氏寄贈
小野道風の書を巧みに写しています

東博所蔵の女性画家作品、一挙紹介

注目 特集陳列

「女性画家」

●6月5日(火)～7月29日(日)
●平成館企画展示室

高名な画家の娘、または妻としてその影響を受けながら、あるいは自らの生きる道として絵筆を執った日本の女性画家たち。本特集陳列では、当館の所蔵品から近世近代に活躍した女性画家の作品を初めて一堂に展示し、狩野派絵師、文人画家、浮世絵師、洋画家と多様な彼女らの生涯とあわせて紹介いたします。

久隅守景の娘・清原雪信、池大雅の妻・池玉瀾、葛飾北斎の娘・葛飾応為らからは、家族とのつながりを大切に絵の道を進んだ女性画家の姿が見出せます。また野口小蘋、奥原晴湖、跡見花蹊らからは、女性の活躍の道を切り開こうと模索した、しなやかで力強い新時代の勢いを感じることができます。本展でご紹介する十二人の姿には、きっと現代の女性たちも共感するところがあるでしょう。

中日の7月2日(月)をはさんで、ほぼ全ての作品が入れ替わりますのでご注意ください。また、5月15日(火)～6月24日(日)には、本館18室で上村松園筆「焔」も展示されます。お楽しみに。

（瀬谷愛）

焔
上村松園筆　大正7年(1918)
本館18室(5月15日～6月24日)
女の嫉妬と情念を描きあげた松園の傑作もお見逃しなく

エロスとサイケ
ラグーザ玉筆　明治時代･20世紀
ギリシャ神話に登場する、サイケ(プシュケ)を連れ去るエロス。玉をイタリアへ導いた夫ラグーザをイメージしているという解釈もあります

人のかたちを描くこと

注目 特集陳列

「美術解剖学 ―人のかたちの学び」

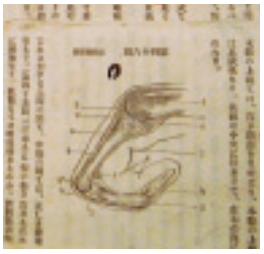
●7月3日(火)～7月29日(日)
●本館　特別1室

「人体を描く」ことはどのような意味を持つのでしょう。皮膚の下にある構造と体表との関係、動きやプロポーションなど、人のかたちとその意味を探求する学問が『美術解剖学』です。日本では、ドイツで医学を学んだ森林太郎(鷗外)によって、東京美術学校(現東京芸術大学)で行われた講義が基礎となりました。その後、久米桂一郎に引き継がれます。

今回、鷗外・久米の『藝用解剖學 骨論の部』の草稿、当時のドイツとフランスの美術解剖学書、黒田清輝の滞仏時代の『美術解剖学受講ノート』等を展示します。

また、久米と黒田には滞仏中、同日、同モデルを描いた裸体デッサンがあります。それらを、この学びから得られた油画作品とともに展示し、日本にこの分野を根付かせようとした彼らの取り組みを紹介します。

(木下史青)



上:
藝用解剖學　骨論の部(草稿)
无名氏(森林太郎・久米桂一郎)著　明治31～33年(1898～1900)
久米が執筆し、鷗外が校正したといわれる「草稿」だが、この赤字ははたして鷗外のものか?

下:
滞仏中の「美術解剖学」受講ノート
黒田清輝筆　明治時代・19世紀
美術解剖学の講義を受けた時のノート。"カンペルの顔面角"を示す頭骨側面を描いている

動物埴輪の意味を探る

注目 特集陳列

「動物埴輪の世界」

●7月3日(火)～10月28日(日)
●平成館　考古展示室

埴輪に表現された動物は、鶏・水鳥・鷹・馬・犬・猪・鹿・牛・猿・ムササビ・魚など実に多様ですが、それらは当時日本列島にいた様々な動物のうちのほんの一部にすぎません。これは古墳時代の人々が特定の動物を選んで埴輪にしていたことをうかがわせます。その意図はどのようなものだったのでしょうか。

埴輪 猪
古墳時代・6世紀　伝千葉県我孫子市出土
狩人に射られた矢がお尻に突き刺さっています

古墳には動物埴輪や人物埴輪が向き合ったり、列になったりして、様々な場面を表現するように並べられていました。そうした配置のあり方や個々の埴輪の特徴を分析すると、動物埴輪に託された物語が浮かび上がります。今回の特集陳列では、様々な動物埴輪と人物・動物などの小像がついた装飾付須恵器を展示し、動物埴輪のもつその意味をわかりやすくご紹介します。

(山田俊輔)

埴輪 犬
古墳時代・6世紀　群馬県伊勢崎市境上武士出土
狩を終えてホッとしたのか、舌を出しています

古代裂の貴重なコレクション

注目 特集陳列

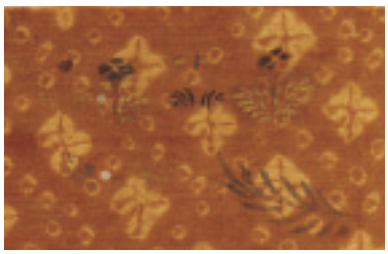
「初公開の法隆寺裂 ―平成22・23年度修理完了作品―」

●7月10日(火)～8月5日(日)
●法隆寺宝物館　第6室

奈良・法隆寺から献納された法隆寺献納宝物の染織品は、「塵埃小切」を納めた唐櫃の中身を、大きさなどによってガラス挟みや鳥の子紙の台紙へ貼るなど、様々な方法で整理が行われました。とりわけ、見栄えのする作品はガラス挟みにされ、染織の作品として登録されましたが、その他の大部分は未決品(未登録の作品)のままになっています。

ガラス挟みの作品も、経年によりガラス内面にくもりが生じ、裂近くまで及ぶようになり、劣悪な状態になってきました。そこで修理が行われるようになり、ガラス挟みの半数が完了したのを機会に、お披露目いたします。これまでほとんど展示されなかった双鳳文錦や様々な文様の綾、纐纈に金・銀泥で草花文を描絵した珍しい作品も含まれていますので、ご期待ください。

(沢田むつ代)



茶地草花文描絵纐纈平絹
奈良時代・8世紀
絞り染めの纐纈平絹に、金・銀泥による可愛らしい草花文が印象的

1000年後の未来にバトンタッチ!

保存と修理情報 11

荻原守衛作「女」のブロンズ像公開

東博所蔵の重要文化財「女」の石膏原型は荻原守衛の代表作であり、近代日本彫刻の研究にとってきわめて貴重な作品です。この原型から制作されたブロンズ像が第四回文展に出品され、現在東京国立近代美術館に収蔵されています。他にもこの原型を元に鋳造されたブロンズ像が東京芸術大学、中村屋本店、碌山美術館などに所蔵されています。現在、「女」石膏原型は表面や内部の状態が極めて悪いため、公開を停止しています。そこで、東博と東京芸術大学が協力して、三次元デジタル計測技術を駆使しながら、石膏原型を傷めることなく、非接触でブロンズ像を鋳造する研究に取り組みました。そして、荻原守衛没後百年に当たる二〇一〇年秋に、一九一〇年当時の鋳造技術を再現した造像に成功しました。原型の姿を豊かに備えたブロンズ像がいよいよ本館展示室にお目見えします。

(保存修復課長　神庭信幸)

鋳造直後に型から取り出された像

気になるこの部屋・この作品

本館1室 仏教の興隆

飛鳥時代の深い瞑想

銅造菩薩半跏像

5月8日(火)～8月26日(日)

ロダンの「考える人」ほど深刻ではなさそうですが、右手を頬に添えて物思いに耽る姿の像です。瞼を刻まないので、目を閉じているようにも見えます。釈迦が世を去ってから五十六億七千万年後にこの世に現れる弥勒菩薩とも、悟りを開く前の釈迦の姿とも考えられ、いずれにしてもどうすれば皆が苦しみから脱け出せるかを思惟(しい、しゆい)しているのです。口端が持ち上がるいわゆるアルカイックスマイルと細い指が、静かで深い瞑想をみごとに表しています。

(浅見龍介)

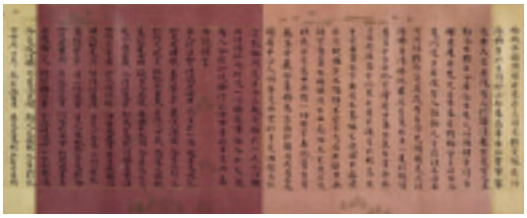
銅造菩薩半跏像
飛鳥時代・7世紀
和歌山県那智勝浦町那智山出土
北又留四郎氏他2名寄贈
上体を前に、頭を右に傾けています

本館2室 国宝室

優美で清らかな料紙の取り合わせに注目

国宝 法華経 巻第六(色紙)

5月29日(火)～7月8日(日)



◉法華経 巻第六(色紙)
平安時代・12世紀　和歌山県・金剛峯寺蔵
華麗な装飾が王朝の信仰を物語ります

平安時代後期には法華経への信仰が高まり、王朝貴族によって、料紙や装丁に贅を尽くした装飾経が数多く制作されました。この法華経も時代の風潮を代表する作例の一つです。料紙はさまざまな色彩の色紙三十七枚を貼り継いで、金で界線を施した上金銀箔を散らし、欄外や紙背には花鳥の文様を描く大変華麗なもので、そこに法華経の巻第六(寿量品第十六から法師功徳品第十九まで)を墨書しています。

(田良島哲)

本館8室 書画の展開

等伯による肖像画の傑作

重文 伝名和長年像

6月12日(火)～7月22日(日)

等伯が「信春」と名乗っていた頃に描いた肖像画。おそらく等伯と同時代に活躍した武将で、枇杷が好物であったのでしょう。家臣の愛くるしい小姓が茶碗を差し出し、馬丁が暴れる愛馬を抑えています。武将の髭や茶碗や扇に描かれた絵の細かさに目をみはります。

華麗な色彩と極めて緻密な描写があいまって武将の威厳を表しているのです。

6月10日までは、本館7室で等伯と息子久蔵の屏風が競演しています。

ぜひあわせてご覧下さい。

(松嶋雅人)

◎伝名和長年像
長谷川等伯筆
安土桃山時代・16世紀
扇には判子まで描き込まれています

本館10室 浮世絵と衣装

子どもたちの七夕の遊びを描く

子寶五節遊・七夕

6月12日(火)～7月8日(日)

天明(一七八一～八九)期に活躍した鳥居清長(一七五二～一八一五)は、天明七年頃に鳥居家の四代目を継ぎ、家業である芝居看板や番付の仕事に専念し、錦絵制作から遠ざかっていました。本図は、五節句にちなんだ子どもたちの遊びの様子を描いたシリーズの一枚。七夕飾りを手にした赤ん坊が子どもに背負われ、手前では、習字の上達を願って硯を洗う子どもが描かれています。傘を手にした娘の手習帳に「寛政十三年清書そうし 酉正月吉日」とあり、寛政十三年(一八〇一)に制作されたものとされています。

(田沢裕賀)

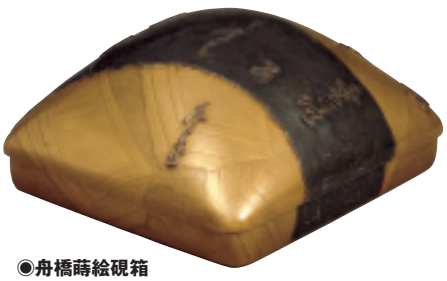
子寶五節遊・七夕
鳥居清長筆
江戸時代・寛政13年(1801)
寛政末年の珍しい作品

本館12室 漆工

硯箱の革新

国宝 舟橋蒔絵硯箱

5月8日(火)～7月22日(日)



◉舟橋蒔絵硯箱
本阿弥光悦作　江戸時代・17世紀
散らし書きは、「東路の佐野の舟橋かけてのみ思ひ渡るを知る人ぞなき」という和歌

硯箱とは普通、正方形に近くて丈が低い、平たい四角い箱です。しかし本阿弥光悦は大胆にも、中央を高く盛り上げ、このような山形の入れものを作りました。のみならず、それまでの漆芸品にはありえないほど厚く、大きな鉛板を横に渡しています。そこへ銀の厚い板を切り抜いて表した文字を置いて、光悦の散らし書きを表現しているのです。こうした器形や装飾がどれほど革新的なものであったか、伝統的な蒔絵作品と比べると、はっきりします。同じ12室に展示している他の硯箱と比較しながら、ご覧になってみて下さい。

(竹内奈美子)

教えて！なぜなにトーハク

―其の3―

140周年を記念して生まれたキャラクター、トーハクくんとユリノキちゃんが、東京国立博物館の歴史や活動について、皆様の質問にお答えします。

こんにちは、ユリノキちゃんです。今日は東京都・女性（59歳）、山梨県・男性（55歳）の方など多くの方からお寄せいただいた、こちらの謎にせまります！

ユリノキちゃん

おはにちは！
ぼく、トーハクくん！
きょうのなぞは
なんだほー？

トーハクくん

Q 特別展の企画はどんなふうに決めるの？

トーハクの特別展が決定するまで

特別展を企画するのは、博物館の研究員です。日常の研究やお寺などの調査から展覧会のテーマが生まれます。作品を所蔵する寺社や、新聞社、テレビ局で展覧会を企画・運営する文化事業部などから企画が提案されることもあります。

では、企画が生まれるのはいつでしょう。基本的には開催の2年以上前にさかのぼります。魅力的なコンセプトの組み立て、当館で開催する意義や集客見込みなど、様々な観点から検討を重ね、館内の会議で正式に決定されるのは開幕の1年以上前。その後、展示デザイン、作品輸送計画、広報、カタログ編集などの準備が進められます。

作品の出品交渉は10年以上前からスタートすることも珍しくありません。たとえば、今年1月に開催された「北京故宮博物院200選」は、20年近く前に当館の研究員が故宮に送った出品希望作品リストがそもそものはじまり。その後、双方の研究員が信頼関係を築く努力を重ね、さらに日中国交正常化40周年というメモリアルイヤーが後押しとなって展覧会が実現しました。

特別展には、いろんな場所からたくさんの作品が来るから、いつも楽しみだほー。

私も！特別展の開催はたくさんの人たちの協力があってはじめて実現する一大プロジェクト。だいぶ前から準備が必要なのよ。

「ボストン美術館　日本美術の至宝」は5年以上前から作品保護のために公開を控えたり、修復を施すなどして、準備が行われました。

1974年に開催されたモナ・リザ展は、国家間の交流によって超有名作品の来日が実現しました。入館者数No.1で150万人！

トーハクの所蔵品が特別展の作品として共演することもあるし、総合文化展で関連の作品が展示されていることもあるのよ。

特別展に来たときにはぼくたちにも会いに来てほしいほ。

ぼくも特別展にでたいほー！

うーん…
トーハクくんは
ちょっと難しいんじゃ
ないかしら？

みどりのライオン
みんなで楽しむ教育スペース
EDUCATION CENTER　教学中心　교육센터

PART 1

知る楽しみ、学ぶ喜び
講座・講演会・解説

講演会

東京国立博物館140周年月例講演会
東洋の青磁

中国を中心に青磁の展開を概観します。
日時：6月9日(土)13:30～15:00
講師：今井敦(博物館教育課長)
(関連する特集陳列「東洋の青磁」に関する詳細は8ページ参照)

東京国立博物館140周年月例講演会
帝室博物館総長・森鷗外の時代

明治の文豪はトーハクの館長でした。
日時：7月28日(土)13:30～15:00
講師：田良島哲(調査研究課長)

＊開場は開始の30分前。いずれも会場は平成館大講堂、定員380名(先着順)、聴講無料(ただし当日の入館料は必要)。

列品解説

国宝 青磁下蕪瓶(しもかぶらへい)について

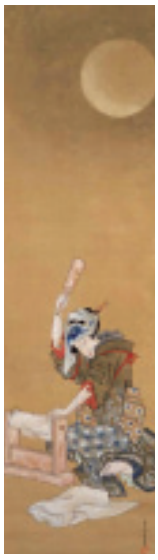
日時：6月1日(金)18:30～19:00　本館14室
講師：今井敦(博物館教育課長)
国宝 青磁下蕪瓶の位置づけについて解説します。
(関連する特集陳列「東洋の青磁」に関する詳細は8ページ参照)

魅力発見！ 女たちの絵画

日時：6月12日(火)14:00～14:30
平成館企画展示室
講師：安藤香織(列品管理課アソシエイトフェロー)
近世から近代にかけて、日本で活躍してきた女性画家たちの多様な作品をご紹介します。(関連する特集陳列「女性画家」に関する詳細は8ページ参照)

美術解剖学―人のかたちの学び

日時：7月3日(火)14:00～14:30　本館20室
講師：木下史青(デザイン室長)
人のかたちとその意味を探求する学問『美術解剖学』についてお話しします。(展示に関する詳細は9ページ参照)


月下砧打美人図
葛飾応為筆
江戸時代・19世紀

特集陳列「初公開の法隆寺裂」

日時：7月10日(火)14:00～14:30　法隆寺宝物館第6室
講師：沢田むつ代(特任研究員)
これまでほとんど展示されることがなかった法隆寺裂、修理によって鮮やかな色がよみがえりました。(展示に関する詳細は9ページ参照)

国宝 医心方

日時：7月20日(金)18:30～19:00　本館2室　国宝室
講師：高橋裕次(博物館情報課長)
10世紀末に成立し、長く宮中に秘蔵された日本最古の医学書『医心方』についてお話しいたします。

人間国宝のわざ

日時：7月24日(火)14:00～14:30
本館19室
講師：猪熊兼樹(貸与特別観覧室研究員)
国は無形文化財のうち重要なものを重要無形文化財に指定し、これらの技を高度に体現している者を保持者に認定しています。本陳列では、人間国宝が伝統的な工芸技術によって制作した作品を選んで、その技と美をご紹介します。

金胎蒔絵飾箱「富貴」
寺井直次作　平成元年(1989)

動物埴輪の世界

日時：7月31日(火)14:00～14:30　平成館考古展示室
講師：山田俊輔(考古室研究員)
古墳にたて並べられた様々な動物埴輪たちの物語を読み解きます。
(関連する特集陳列「動物埴輪の世界」に関する詳細は9ページ参照)

PART 2

五感を使った美術体験
ワークショップ

事前申込制　[往復はがき、ウェブサイトフォーム、FAX、電子メール]

おとなのためのワークショップ

「季節のもようのお皿作り」

紫陽花、花菖蒲、ゆすらうめ、蛍、雷、夕立……これらはすべて、6月から7月の季語です。日本人は古くから、こうした季節を感じさせるモチーフを、絵画、染織、やきものなど様々な作品に表してきました。展示作品をヒントに、季節を取り入れたお皿をデザインしてみましょう。

日時：①6月30日(土)、②7月1日(日)
14:30～17:00
会場：平成館小講堂
対象：一般(高校生以上)
定員：各回20名(応募者多数の場合は抽選。一度の申込で2名までお申込いただけます)
参加費：無料(ただし、当日の入館料は必要です)

色絵紫陽花文水注 明石
江戸時代・19世紀

申込方法：往復はがき・FAX・電子メール、当館ウェブサイトの申込フォームのいずれかで(1)参加者全員の氏名・ふりがな(2)代表者の郵便番号・住所(3)代表者の電話番号・FAX番号(4)参加希望日を記入の上、下記申込先へお送りください。

宛先：〒110-8712　東京都台東区上野公園13-9　東京国立博物館教育普及室「季節のお皿」係
FAX:03-3822-3010(FAX専用)
電子メール：edu@tnm.jp(件名に「○月○日(希望日)季節のお皿」とご記入ください)
締切：①②ともに6月14日(木)必着

＊制作には、絵付け用のサインペンを使用します。
＊作品は後日、焼成後のお渡しします。お渡し方法(ご来館もしくは着払いでの発送)をワークショップ当日にお選びください。

傘差し美人図(部分)
鳥居清信筆　江戸時代・18世紀

PART 3

大人も子どもも楽しめる
夏休みファミリー向け展示

親と子のギャラリー

つくり方を知れば、見方がわかる！見方がかわる！
「日本美術のつくり方 Ⅲ」

日時：7月24日（火）～9月2日（日）
会場：本館2階　特別2室

この作品、いったいどうやってつくったのだろう？材料は何でできているの？ 日本の伝統的な美術作品を見ていて、疑問に思うことはありませんか？夏休み恒例の「親と子のギャラリー」シリーズ。今年は「日本美術のつくり方 Ⅲ」と題し、伝統的な日本美術の技法4つについて、制作の順を追った工程見本と実物の作品とをならべながら、わかりやすくご紹介します。つくり方を知れば、もっと美術と仲良くなれるはず。子どもから大人まで楽しんでいただける展示です。

紫裾濃威筋兜
江戸時代·18世紀　松平直亮氏寄贈

押出仏　東京国立博物館には、かつて奈良・法隆寺に伝来していた、飛鳥時代7世紀の仏教美術がたくさん展示されています。その中で仏や菩薩さまを、薄い銅板を叩いて打ち出す（押出）ことで表した作品があります。一言でいうのは簡単ですが、完成するまでには、とっても複雑な工程をへているのです。

◎阿弥陀三尊像及び僧形像
（法隆寺献納宝物）
飛鳥時代·7世紀

象嵌　金属には、金・銀・銅・鉄など、様々な種類があり、その硬さや色も異なっています。象嵌は、ある金属に、色の異なる別の種類の金属を埋め込んで、文様を表現する技法。たとえば、刀のさやの根元に付ける、丸い鐔などに、よく使われます。硬い金属を加工するのは、とっても大変なこと。その工程や道具についてご紹介します。

唐草文鐔
江戸時代·19世紀

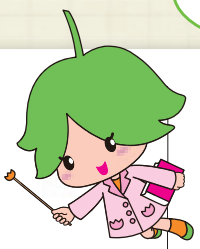
甲冑　甲冑とは、いくさで敵の刀や槍、矢などから身を守るために着た「よろい・かぶと」のことです。丈夫であることが大事ですが、また動きやすいものでもなければなりません。そこで、日本の甲冑は、金属・皮・糸などいろいろな材料を用い、工夫して作られてきたのです。この部品は、何でできているのかな？工程見本でわかりやすくお伝えします。

螺鈿　螺鈿は、貝の内側のきらきらした部分を文様の形に切り抜いて、調度品やうつわなどの表面に貼り付け装飾する技法で、日本でも古くから、漆工芸で使われてきたもの。螺とは貝がら、鈿とは貼り付ける・埋め込むという意味です。いったいどんな貝を使っているのでしょう。また、どのようにして出来上がっていくのでしょう。

螺鈿技術記録　片岡華江作
昭和31年（1956）

PART 4

トーハクをもっと身近に
ボランティアによる事業



事前申込制　［往復はがき、ウェブサイトフォーム］

こどもたちのアートスタジオ

①「勾玉作り」

大人気の定番プログラムです。平成館考古展示室にある古代の勾玉を見学した後に、滑石を削ってオリジナルの勾玉を制作してみましょう。できあがったものはお持ち帰りいただけます。

②「根付作り」

本館10室にある根付を見学した後に、粘土を加工してオリジナルの根付を制作します。こちらもできあがったものはお持ち帰りいただけます。

日時：①7月8日（日）、②8月5日（日）13:30 ～ 15:30（120分）
会場：平成館小講堂
対象：小学校3年生から高校生※保護者の方の見学も可能です（ただし保護者の方の当日の入館料は必要です）
定員：10名程度（応募者多数の場合は抽選）
参加費：無料
申込方法：往復はがき、または当館ウェブサイトの申込フォームで（1）参加者全員の氏名（ふりがな）とお子さんの学年、（2）参加者全員の郵便番号・住所、（3）電話番号（FAX番号）、（4）保護者がご一緒の場合はその人数をご記入の上、下記申込先へお送りください。
申込締切：①6月11日（月）、②7月9日（月）必着
宛先：〒110-8712　東京都台東区上野公園13-9　東京国立博物館ボランティア室　①は「7月8日勾玉作り」係、②は「8月5日根付作り」係

制作工程模型展示

国宝「紅白芙蓉図」ができるまで　―東洋絵画の絵具の秘密―

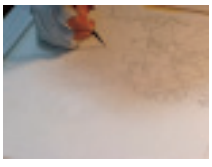
東洋絵画はどのような絵具で描かれているかご存知ですか？ 絵具といってもチューブに入っているような絵具ではありません。古代から現代に至るまで、鉱物・植物・動物・昆虫など、自然界にある様々な材料を加工して使われてきました。

原材料が異なるため、加工された絵具もその色調や使い勝手はすべて異なります。これらの様々な材料の特色を巧みに活かした描き方の一例をご紹介します。

モデルとなった作品は、中国の南宋時代・慶元3年（1197）に宮廷画家の李迪によって描かれた国宝「紅白芙蓉図」のうち、ピンク色の花が描かれた一幅です。制作の順を追って忠実に再現したこの模型を通して、作品がどのように仕上がってゆくか説明します。

また、今回は材料の特徴を説明するために2つの異なる材料で彩色を再現しました。材料別に描き分けられた作品を見比べることで、東洋絵画の絵具の種類の多様さについてご理解を深めていただければ幸いです。

（東京芸術大学大学院博士課程　石井恭子）



東京芸術大学学生ボランティアによるギャラリートーク
「国宝 紅白芙蓉図ができるまで―東洋絵画の絵具の秘密―」

模型を利用して国宝「紅白芙蓉図」が完成するまでのプロセスをわかりやすく解説するとともに、工程模型制作者だからこそ知り得た知見を通して作品の魅力にアプローチします。

日時：6月6日（水）、20日（水）、7月7日（土）　15:30 ～ 15:50
解説：東京芸術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻博士課程
（保存修復日本画研究室）石井恭子
会場：本館20室
集合場所：本館1階エントランス

＊各種催し物のご応募の際ご提供いただいた個人情報は、当該の目的のみ使用させていただきます。終了後はすみやかに破棄します。
＊「ワークショップ」と「こどもたちのアートスタジオ」にお申込いただいた方へは、当落に関わらずご連絡いたします（ワークショップに2名でのご応募の場合は代表者にのみ、アートスタジオは全員にご連絡）。実施日の3日前までに、受講可否の返答がない場合は、通信トラブルの可能性もありますので各申込先にお電話でお問合せください。電話 03-3822-1111（代表）
＊6月17日（日）18:00 ～ 6月20日（水）9:00は、館内設備保守作業に伴い、電子メールによるお申込、お問合せを受けることができません。ご迷惑をおかけし、申し訳ございません。

イベント開催のお知らせ

東京国立博物館　ファミリーコンサート

～クラリネットの響きが彩る午後のひと時～
東京クラリネット・クワイアーが、クラリネットだけの珍しい編成でお届けする名曲の数々

日時：7月7日（土）①13:00 ～　②15:00 ～
会場：平成館ラウンジ
出演：演奏　東京クラリネット・クワイアー　指揮　稲垣征夫
曲目：喜歌劇「詩人と農夫」序曲　F.v. スッペ作曲　磯崎敦博編曲
スラヴ舞曲集より第16番　A.ドヴォルザーク　島田広編曲
フィガロポルカop.320　J.シュトラウスⅡ　稲垣征夫編曲
ワルツ「市民の歌」　J.シュトラウスⅡ　稲垣征夫編曲　ほか
料金：無料（ただし当日の入館料は必要）　＊事前予約不要　先着380名
主催：東京国立博物館　東京クラリネット・クワイアー
協賛：上野のれん会

納涼東博寄席2012

日時：7月15日（日）開場13:00　開演13:30
会場：平成館大講堂
出演：金原亭馬生、金原亭馬治、金原亭馬吉、だるま食堂、金原亭駒松
料金：2,000円　全席自由　＊当日は、公演のチケットで、総合文化展をご観覧いただけます。
主催：東京国立博物館

チケットのお求め方

○当館正門観覧券売場でのチケット販売
受付時間：開館日の9:30 ～閉館の30分前まで（月曜休館、6/19臨時休館）

○電話予約販売
申込先：東京国立博物館　総務課イベント担当　電話 03-3821-9270
受付時間：月曜日～金曜日　9:30 ～17:00（土日・祝休日、6/18、19は除く）
引換方法：公演当日、9:30 ～当館正門観覧券売場にて現金引換えにてお渡しします。

＊各イベントの詳細は、当館ウェブサイトでご確認ください。　＊お車でのご来館はご遠慮ください。

館内のトラック輸送のお知らせ

6月～7月は、東洋館リニューアル準備のため、開館時間中も前庭にてトラック輸送を行います。

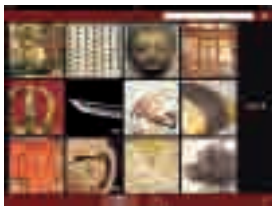
閉室のお知らせ

6月11日（月）～13日（水）は、本館17室をリニューアルのため閉室いたします。
リニューアル後は修理寄付にご協力いただいた方の顕彰板を設置します。
7月2日（月）～9日（月）は、法隆寺宝物館を展示環境改善のため閉室いたします。

休館およびインターネットサービスの一部休止のお知らせ

6月19日（火）は電気設備等保守点検のため臨時休館いたします。
また、6月17日（日）18:00 ～6月20日（水）9:00は、「e国宝」「情報アーカイブ」「画像検索」「研究データベース」のサービスを休止します。当該時間帯の電子メールにについても受信不能となります。ご迷惑をおかけし、申し訳ございません。

e国宝アプリをバージョンアップ



iOS用アプリケーション「e国宝」のバージョンアップ版を、iTunes Storeにて無料公開しています。iPadへの正式対応に加え、「Twitter」の機能と連携したブックマークの共有機能を搭載し、自分の作成したブックマークの公開や他のユーザーが作成したブックマークの閲覧ができるようになりました。

特別展「青山杉雨の眼と書」ご招待券、トーハクくんとユリノキちゃんのグッズをプレゼント

本誌2ページで紹介した特別展「青山杉雨の眼と書」（7月18日〈水〉～9月9日〈日〉）のご招待券を抽選で10組20名様に、本誌5ページで紹介したトーハクくんとユリノキちゃんのグッズをセットにして10名様にプレゼントします。締切は7月20日（金）必着。

◎プレゼントの応募方法
はがきにご希望の商品（「特別展チケット」もしくは「キャラクターグッズ」）、住所、氏名（ふりがな）、性別、年齢、職業、ならびにこの号で一番面白かった企画、なぜなにトーハク（本誌11ページ）で聞きたいことをご記入のうえ、下記までお送りください。発表は発送をもって替えさせていただきます。

〒110-8712　東京都台東区上野公園13-9　東京国立博物館
広報室「ニュース6・7月号」プレゼント係

東京国立博物館賛助会員募集のご案内

＊賛助会員のお申込は随時受け付けております。

東京国立博物館では賛助会員制度を設け、当館の活動を幅広くご支援いただいております。賛助会員よりいただいた会費は、文化財の購入・修理、調査研究・総合文化展・施設整備等の充実にあてております。どうか賛助会の趣旨にご理解ご賛同いただき、ご入会くださいますようお願い申し上げます。

入会日より1年（入会月の翌年同月末日まで）有効。
賛助会員には、特別会員と維持会員の2種類があります。

◎年会費
特別会員　100万円以上
維持会員　法人　20万円 ／ 個人　5万円

◎主な特典
- 特別展の内覧会にご招待
- 東京国立博物館ニュースの送付

◎お問合せ
東京国立博物館総務部　賛助会担当
電話 03-3822-1111（代）

東京国立博物館賛助会員　2012年4月20日現在

特別会員

日本電設工業株式会社 様
株式会社 コア 様
株式会社 精養軒 様
大日本印刷株式会社 様
毎日新聞社 様
株式会社 大林組 様
朝日新聞社 様
株式会社 ミロク情報サービス 様
読売新聞社 様
三菱商事株式会社 様
凸版印刷株式会社 様
ブルガリ ジャパン株式会社 様
財団法人 東芝国際交流財団 様
日本写真印刷株式会社 様
日本ロレックス株式会社 様
サロン・ド・ソネット 様
シティバンク銀行株式会社 様
株式会社 スタイルカフェ・ドット・ネット 様
株式会社 東芝 様

維持会員団体

TBS 様
株式会社 三冷社 様
株式会社 ホテルオークラエンタープライズ 様
株式会社 東京美術 様
株式会社 鶴屋吉信 様
日本通運株式会社 様
株式会社 安井建築設計事務所 様
株式会社 ナガホリ 様
松本建設株式会社 様
株式会社 古美術藪本 様
謙慎書道会 様
近代書道研究所 様
日本畜産興業株式会社 様
株式会社 東京書芸館 様
インフォコム株式会社 様
学校法人 大勝院学園 様
有限会社 システム設計 様
株式会社 インターネットイニシアティブ 様
株式会社 小西美術工藝社 様
公和図書株式会社 様
有限会社 ギャラリー竹柳堂 様
株式会社 育伸社 様
株式会社 モリサワ 様
アミ開発有限会社 様
光村図書出版株式会社 様
株式会社 アクト・ヒューマンリード 様
キョーリン製薬ホールディングス株式会社 様
株式会社 資生堂 様
株式会社 グラスバウハーン・ジャパン 様
株式会社 デュナミス 様
キッコーマン株式会社 様
株式会社 ミューズエンターテインメント 様
公益財団法人 創玄書道会 様
株式会社 アルカ 様

維持会員個人

木村 則子 様
早乙女 節子 様
伊藤 信彦 様
井上 萬里子 様
籔内 匡人 様
服部 禮次郎 様
岩沢 重美 様
高田 朝子 様
齋藤 京子 様
齋藤 邦裕 様
和田 喜美子 様
佐々木 芳絵 様
藤原 紀男 様
中川 俊光 様
関谷 徳衛 様
高橋 守 様
小澤 桂一 様
上久保 のり子 様
櫛田 良豊 様
長谷川 英樹 様
池田 孝一 様
木村 剛 様
観世 あすか 様
星埜 由尚 様
久保 順子 様
渡辺 章 様
稲垣 哲行 様
帖佐 誠 様
飯岡 雄一 様
峯村 協成 様
牧 美也子 様
高瀬 正樹 様
坂井 俊彦 様
寺浦 信之 様
高木 美華子 様
古屋 光夫 様
根田 穂美子 様
松本 澄子 様
是常 博 様
上野 孝一 様
北山 喜立 様
山田 泰子 様
田村 久雄 様
髙橋 徹 様
栄田 陸子 様
絹村 安代 様
髙橋 良守 様
岡田 博子 様
臼井 生三 様
津久井 秀郎 様
川澄 祐勝 様
神通 豊 様
永久 幸範 様
五十嵐 良和 様
石川 公子 様
池田 真 様
青山 千代 様
永田 実香 様
西岡 康宏 様
友景 紀子 様
東野 治之 様
辻 泰二 様
髙木 聖鶴 様
竹下 佳宏 様
野澤 智子 様
野崎 弘 様
坂田 浩一 様
池谷 正夫 様
池谷 徳雄 様
脇 素一郎 様
秦 芳彦 様
木谷 騏巳郎 様
髙梨 兵左衛門 様
渡久地 ツル子 様
汐崎 浩正 様
堤 勝代 様
平井 千惠子 様
髙谷 光宏 様
青山 道夫 様
髙橋 靜雄 様
田中 千秋 様
小西 晧也 様
澁谷 洋志 様
清川 勉 様
ozawayuko 様
仙石 哲朗 様
中井 伸行 様
田中 望 様
三井 速雄 様
坂詰 貴司 様
吉田 靖 様
松本 雅彦 様
篠田 喜弘 様
片山 正紀 様
伊藤 喜雄 様
井上 雄吉 様
大森 雅子 様
折越 卓哉 様
細川 要子 様
錦織 伸一 様
鈴木 幸一 様
秋元 文子 様
土師 詔三 様
上塚 建次 様
鏡 賢志 様
山田 輝明 様
高久 真佐子 様
平山 利恵 様
井出 雪絵 様
佐藤 禎一 様
岡本 博司 様
岡本 恭子 様
田中 榮二 様
谷川 紀彦 様
山口 隆司 様
原 一之 様
会田 健一 様
桐畑 政義 様
相良 多恵子 様
熊谷 勝昌 様
鈴木 徹 様
今里 美幸 様
櫻井 恵 様
伊佐 健二 様
福井 一夫 様
軽部 由香 様
阿部 明美 様
酒井 弘文 様
木越 純 様
井上 保 様
田中 信 様
岡 靖子 様
古川 晴紀 様
菊地 昌弐 様
岩本 光雄 様
山本 隆幸 様
鈴木 春朝 様
山上 知子 様
名取 幸二 様
増渕 信義 様
要 英範 様
樽本 英信 様
本條 陽子 様
西原 賢一 様
加藤 康幸 様
安田 格 様
原田 清朗 様
筑紫 みずえ 様
鳥山 玲 様
山形 哲也 様
尾﨑 邑鵬 様
山本 雅司 様
倉片 康雄 様
栗山 哲夫 様
安達 務 様
山根 宗芳 様
梅本 聖 様
井上 保 様
榎本 享世 様
田頭 一舟 様
岡田 良雄 様
阿部 和加子 様
井茂 圭洞 様
高味 良信 様
廣田 穣 様
熊谷 誠治 様
杉山 恭規 様
山田 浩一 様
秋元 あかね 様
笹森 美子 様
高橋 明子 様
村井 明美 様
久保田 哲暁 様
小塚 泰博 様
星 八郎 様
星 弘道 様
熊谷 潤子 様
佐野 豊進 様
田中 節山 様
髙木 聖雨 様
久保 和樹 様
山中 翠谷 様
荒木 章 様
ほか63名2社、順不同

TOPICS

TNM & TOPPAN ミュージアムシアター

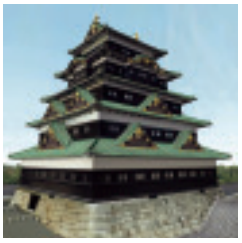
⊙VR作品「洛中洛外図屏風 舟木本」
4月6日(金)～7月1日(日)の金・土・日・祝日

当館所蔵の「洛中洛外図屏風(舟木本)」(重要文化財)を超高精細撮影と色計測によりVRで再現しました。屏風に描かれた活気あふれる京の町並みや人々の表情の細部まで拡大し大型スクリーンでご覧いただけます。ナビゲータによる解説とともにお楽しみください。

【監修】東京国立博物館【制作】凸版印刷株式会社　VR作品「洛中洛外図屏風 舟木本」より

⊙VR作品「江戸城―本丸御殿と天守―」
7月6日(金)～9月30日(日)の金・土・日・祝日

およそ265年間にわたり徳川15代の征夷大将軍の居城であり江戸幕府の中心であった江戸城。豪華絢爛な本丸御殿、明暦の大火で焼失した寛永の天守をはじめ、現存しない江戸城を、残された図面を元に再現しました。時代を超えて蘇った江戸城へのバーチャルトリップをお楽しみください。



【制作・著作】東京都江戸東京博物館/凸版印刷株式会社　VR作品「江戸城―本丸御殿と天守―」より

●10:00, 11:00, 12:00, 14:00, 15:00, 16:00上演　各回30名
＊当日予約制　上演開始10分前までに本館1階エントランスにて受付

J-WAVE SPRING FESTIVAL@トーハク開催しました

4月7日(土)、FMラジオ局J-WAVE(81.3FM)とのスペシャルコラボレーションイベントを開催しました。庭園では森山直太朗さんによるライブや公開収録、遠州流茶道 桜の茶会も行われるなど満開の桜のもと大盛況でした。

アンドロイド版スマートフォンアプリ「トーハクなび」登場

昨年の1月から4月にかけて実証実験を行った「トーハクなび」が、アンドロイド版スマートフォンアプリとしてリリースされました。総合文化展鑑賞のための「日本美術入門コース」「日本美術の流れコース」「スペシャルコンテンツコース」「法隆寺宝物館コース」「建物めぐりコース」の五つのコースが用意されており、鑑賞体験をより深く充実したものにするためのナビゲーションとしてご利用いただけます。是非お試しください。ダウンロードは当館ウェブサイト「アプリ」からどうぞ。

インターネットでトーハク体験！　Google アートプロジェクト

インターネット検索エンジンGoogleが文化的、歴史的に重要な遺産をデジタルアーカイブする「Googleアートプロジェクト」に参加しました。インターネットを通じてトーハク館内をストリートビューで見られるほか、所蔵作品をご覧いただけます。「国宝 観楓図屏風」(狩野秀頼筆、室町～安土桃山時代)は70億画素の超高解像度で撮影されており、細かい筆のタッチまで詳細にみることができます。 http://www.googleartproject.com/

『MUSEUM』637号(2012年4月15日発行)の掲載論文

①「法隆寺伝来　繍仏裂の分類と基礎的考察」
三田覚之(日本学術振興会特別研究員)

②「《資料紹介》ウィリアム・マルリディ素描複製画―東京国立博物館所蔵〈石版画〉より―」
遠藤楽子(当館国際交流室)

③「《報告》東京国立博物館本館漆工展示室の改修プロセス―展示ケースの設計・監理を中心に―」
矢野賀一(当館デザイン室)

国立博物館の展示案内

〈京都国立博物館〉
特別展覧会「古事記1300年　出雲大社大遷宮　大出雲展」
7月28日(土)～9月9日(日)

〈奈良国立博物館〉
特別陳列「古事記の歩んできた道　―古事記撰録1300年―」
6月16日(土)～7月16日(月・祝)
特別展「頼朝と重源　―東大寺再興を支えた鎌倉と奈良の絆―」
7月21日(土)～9月17日(月・祝)

〈九州国立博物館〉
特別展「美のワンダーランド　十五人の京絵師」
7月10日(火)～9月2日(日)

東京国立博物館友の会&パスポート

友の会　年会費 1万円
発行日から1年間有効

【特典】東京・京都・奈良・九州国立博物館4館の総合文化展・平常展は何度でもご覧いただけます。特別展に関しては、観覧券を12枚配布。そのほか、本誌の定期郵送などさまざまな特典があります

パスポート　一般4,000円　学生2,500円
発行日から1年間有効

【特典】東京・京都・奈良・九州国立博物館4館の総合文化展・平常展は何度でも、お好きな6つの特別展を1回ずつ計6回までご覧いただけます

＊建物の改修等のため、京都国立博物館の平常展示館、東京国立博物館東洋館・表慶館・黒田記念館など一部展示館を閉館しています。

⊙お申し込みは当館窓口、郵便振替または当館ウェブサイトで

【郵便振替でのお申込】
●振替用紙には郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・職業・年齢・性別・メールアドレスを楷書でご記入ください
●振替用紙の半券が領収書になります。会員証、パスポートが届くまで保管しておいてください
●振替手数料はお客様の負担となります
●ご入金確認日より会員証、パスポートがお手元に届くまで2週間程かかります

友の会

加入者名(振替先)東京国立博物館友の会
口座番号 00160-6-406616

パスポート

加入者名(振替先)東京国立博物館パスポート
口座番号 00140-1-668060
●振替用紙には申込区分(一般か学生)、学生の場合は、生徒手帳か学生証のコピーを郵送またはFAXでお送りください

⊙お問合せ
電話 03-3822-1111(代)　友の会・パスポート担当
FAX 03-3821-9680

東京国立博物館ニュース定期郵送のご案内

本誌の定期購読をご希望の方は、年間(6冊分)1,000円の送料・事務費のご負担でご自宅にお届けします

⊙お申込は郵便振替で
加入者名(振替先)東京国立博物館ニュース
口座番号 00100-2-388101
●振替用紙には郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号を楷書でご記入ください
●振替用紙の半券が送料の領収書になります。1年間保管しておいてください
●振替手数料はお客様のご負担となります
●次号より送付ご希望の場合、締切は2012年7月10日です

東京国立博物館メールマガジンのご案内

特別展・各種催し・展示替・ウェブサイト更新などの情報をいち早くお届けします
●ご登録はhttp://www.tnm.jp/から

東京国立博物館利用案内

開館時間　9:30～17:00
2012年3月～12月の特別展開催期間中の毎週金曜日は20:00まで開館
2012年3月20日～9月の土日祝休日は18:00まで開館(入館は閉館の30分前まで)

休館日　原則として月曜日(祝日・休日にあたる場合は開館、翌火曜日休館)、2012年6月19日、年末年始(2012年12月25日～2013年1月1日)。

総合文化展観覧料金
一般600(500)円、大学生400(300)円
●(　)内は20名以上の団体料金
●障がい者とその介護者1名は無料です。入館の際に障がい者手帳などをご提示ください
●満70歳以上、高校生以下および18歳未満の方の総合文化展観覧は無料です。入館の際に年齢のわかるもの(生徒手帳、健康保険証、運転免許証など)をご提示ください

＊各種イベント等のお申込に際してご提供いただいた個人情報は、当該の目的にのみ使用させていただきます。当館は個人情報に関する法令を遵守し、適正な管理・利用と保障に万全を尽くします

表紙：埴輪 男子　古墳時代・6世紀　埼玉県熊谷市野原古墳出土、埴輪 犬　古墳時代・6世紀　群馬県伊勢崎市境上武士出土

2012•6 東京国立博物館 2012年6月・7月の展示・催し物 2012•7

特別展「ボストン美術館 日本美術の至宝」

1 FRI	夜間開館（20:00まで） 列品解説「国宝 青磁下蕪瓶について」18:30 本館14室*1 法15:00	
2 SAT	時間延長（18:00まで） 建11:00 樹13:30 本14:00 法15:00	
3 SUN	時間延長（18:00まで） 浮14:00 考14:30	
4 MON	休館日	
5 TUE	建13:00	
6 WED	芸大トーク「国宝 紅白芙蓉図ができるまで」15:30 本館20室*2 浮14:00	
7 THU		
8 FRI	夜間開館（20:00まで） 講演会「特別展の舞台裏―保存と修理」 13:30 平成館大講堂 英14:00 考14:30	
9 SAT	時間延長（18:00まで） 月「東洋の青磁」13:30 平成館大講堂 陶14:30	
10 SUN	時間延長（18:00まで） 浮14:00 作（勾玉作り）13:30	
11 MON	休館日	
12 TUE	列品解説「魅力発見！女たちの絵画」14:00 平成館企画展示室*1 建13:00	
13 WED	樹13:30	
14 THU	本14:00 庭14:00	
15 FRI	法15:00	
16 SAT	時間延長（18:00まで） 建11:00 本12:00, 14:00 樹13:30 法15:00	
17 SUN	時間延長（18:00まで） 英12:00 茶12:30, 14:00	
18 MON	休館日	
19 TUE	臨時休館日	
20 WED	芸大トーク「国宝 紅白芙蓉図ができるまで」15:30 本館20室*2	
21 THU	彫15:00	
22 FRI	考14:30	
23 SAT	時間延長（18:00まで） 陶14:30	
24 SUN	時間延長（18:00まで）♪東京国立博物館 初夏のコンサート 14:30 平成館ラウンジ*3 彫11:00 庭14:00 浮14:00	
25 MON	休館日	
26 TUE		
27 WED	樹13:30	
28 THU	本14:00	
29 FRI		
30 SAT	時間延長（18:00まで） おとなのためのワークショップ「季節の もようのお皿作り」14:30 平成館小講堂*4	

1 SUN	時間延長（18:00まで） おとなのためのワークショップ「季節の もようのお皿作り」14:30 平成館小講堂*4 浮14:00 考14:30	
2 MON	休館日	
3 TUE	列品解説「美術解剖学 ―人のかたちの学び」14:00 本館20室*1 建13:00	
4 WED	浮14:00	
5 THU		
6 FRI		
7 SAT	時間延長（18:00まで） ♪東京国立博物館 ファミリーコンサート 13:00, 15:00 平成館ラウンジ*5 芸大トーク「国宝 紅白芙蓉図ができるまで」15:30 本館20室*2 建11:00 樹13:30 本14:00	
8 SUN	時間延長（18:00まで） 作（勾玉作り）13:30 浮14:00	
9 MON	休館日	
10 TUE	列品解説「特集陳列『初公開の法隆寺裂』」14:00 法隆寺宝物館第6室*1 建13:00	
11 WED	樹13:30	
12 THU	本14:00 庭14:00	
13 FRI	英14:00 考14:30	
14 SAT	時間延長（18:00まで） 陶14:30	
15 SUN	時間延長（18:00まで） 納涼東博寄席 13:30 平成館大講堂*5 英12:00 茶12:30, 14:00	
16 MON	時間延長（18:00まで）	
17 TUE	休館日	
18 WED		
19 THU	彫15:00	
20 FRI	夜間開館（20:00まで） 列品解説「国宝 医心方」18:30 本館2室*1 法15:00	
21 SAT	時間延長（18:00まで） 記念講演会「青山杉雨の素顔」13:30 平成館大講堂*6 建（手話通訳付）11:00 本12:00, 14:00 樹13:30 法15:00	
22 SUN	時間延長（18:00まで） 彫11:00 庭14:00 浮14:00	
23 MON	休館日	
24 TUE	列品解説「人間国宝のわざ」14:00 本館19室*1	
25 WED	樹13:30	
26 THU	本14:00	
27 FRI	夜間開館（20:00まで） 考14:30	
28 SAT	時間延長（18:00まで） 月「帝室博物館総長・森鷗外の時代」 13:30 平成館大講堂 陶14:30	
29 SUN	時間延長（18:00まで） 浮14:00	
30 MON	休館日	
31 TUE	列品解説「動物埴輪の世界」14:00 平成館考古展示室*1	

親と子のギャラリー (9/2まで) (9/9まで)

*1:詳細は本誌12ページをご覧ください *2:芸大ギャラリートーク、集合場所:本館1階エントランス。詳細は本誌13ページをご覧ください *3:詳細は前号14ページをご覧ください *4:事前申込制。詳細は本誌12ページをご覧ください *5:詳細は本誌14ページをご覧ください *6:事前申込制。詳細は本誌2ページをご覧ください

本=ボランティアによる本館ハイライトツアー、集合場所:本館1階エントランス
浮=ボランティアによる浮世絵ガイド、集合場所:本館1階エントランス
陶=ボランティアによる陶磁ガイド、集合場所:本館1階エントランス
彫=ボランティアによる彫刻ガイド、集合場所:本館1階エントランス
樹=ボランティアによる樹木ツアー、集合場所:本館1階エントランス
考=ボランティアによる考古展示室ガイド、集合場所:平成館考古展示室入口
法=ボランティアによる法隆寺宝物館ガイド、集合場所:法隆寺宝物館1階エントランス
茶=ボランティアによる応挙館での茶会、集合場所:本館1階エントランス（一般及び大学生は参加費500円、先着30名、開始30分前に集合場所で整理券配布）
英=ボランティアによる英語ガイド（日本美術の流れ）、集合場所:本館1階エントランス
庭=ボランティアによる庭園茶室ツアー 集合場所:本館1階エントランス（先着20名、開始30分前に集合場所で整理券配布）
建=ボランティアによるたてもの散歩ツアー、集合場所:本館1階エントランス
作=ボランティアによるこどもたちのアートスタジオ（事前申込制。6月10日分は申込は締切りました。7月8日分の詳細は本誌13ページをご覧ください。）
月=月例講演会、詳細は本誌12ページをご覧ください
=ミュージアムシアター「洛中洛外図屏風 舟木本」（4/6～7/1）、「江戸城―本丸御殿と天守―」（7/6～9/30）、上映 10:00 11:00 12:00 14:00 15:00 16:00 各回30名、集合場所:本館1階エントランス 詳細は当館ウェブサイトでご確認ください

東京国立博物館ニュース 第713号 平成24年6月1日発行（隔月1回 偶数月発行） 編集／東京国立博物館 広報室 ©東京国立博物館
発行／東京国立博物館 〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9 TEL 03-3822-1111（代表）＊ウェブサイト（URL）http://www.tnm.jp/ 独立行政法人国立文化財機構ウェブサイト（URL）http://www.nich.go.jp デザイン／D_CODE 制作／凸版印刷株式会社